

建築研究所ニュース



平成18年 4月17日

「**建研式 大ストローク振動台**」が完成 《超高層ビルの揺れを体験》

独立行政法人建築研究所（理事長：山内泰之）を中心とする研究チームは、長周期地震動に対する超高層建物の揺れを再現できる世界初の振動台を開発しました。

科学技術週間の一環として施設一般公開を行い、広く一般の方に見学していただくと同時に、報道関係者に公開いたします。

公開日 : 平成18年4月22日（土）
公開場所 : 茨城県つくば市立原1番地 独立行政法人建築研究所
施設一般公開 : 3つの見学ツアーのうち、Aコースの中で見学できます。
ツアー開始時間は 10:10～ 13:00～ 14:00～の3回です。
詳細は、建築研究所のホームページ(www.kenken.go.jp)をご覧ください、電話（029-864-2151）によりお申し込みください。

報道関係者用
公開時間 : 13:40～ 概要説明 （本館1階講堂）
14:10～ 振動台の公開 （実大構造物実験棟）
（一般の見学者と同時に公開します）

* 見学者及び報道関係者の方に、振動台に乗っていただき揺れを体験していただきます。

この振動台は、加振装置の動きを動滑車により13倍に増幅して、振動台を揺らす仕組みです。これだけ大きなストロークを再現できる振動台は、世界にも例がありません。これにより、超高層建物の最上階の地震時の揺れを再現することができます。

振動台は、幅2.75メートル、長さ4メートル、重さ1.4トン。10メートルのレールの上を、最大振幅2.5メートルで移動します。

研究では、振動台の上に超高層建物の居住空間を再現し、地震時の避難行動や家具の移動・転倒などを検討して、巨大地震への超高層建物の安全対策等に役立てます。

* 共同研究機関 *

国土技術政策総合研究所
千葉大学
防災科学技術研究所

[50音順]

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 国際地震工学センター
氏名 上席研究員 齊藤大樹
電話 029-864-6751（直通）
E-mail tsaito@kenken.go.jp